



・H25年8月、中部縦貫自動車道大野油坂道路整備促進連絡協議会（H6.6設立、大野市長、大野市議会議長、大野商工会議所会頭、大野市区町連合会会長等）より早期整備の要望を受けている。  
福井県知事の意見：

一般国道158号大野油坂道路(大野東・和泉区間)の対応方針(原案)「事業継続」については異存ありません。

大野油坂道路については、未事業化区間(大野・大野東間)の早期事業化とともに、事業化区間(大野東・油坂出入口間)の速やかな用地買収・工事着手により、一日も早い全線開通を図っていただきたい。

永平寺大野道路については、平成28年度開通予定の永平寺東・上志比間の一日も早い全線開通が図られるよう十分な事業費を確保していただきたい。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「一般国道158号大野油坂道路(大野東・和泉区間)」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

平成24年度に隣接する「大野油坂道路(和泉・油坂区間)」が事業化。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成20年度に事業化、用地進捗率54%、事業進捗率2%(平成26年3月末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

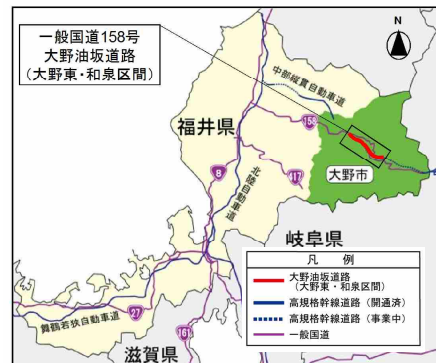
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。